

作家名

荒木 美由



作家詳細

タイトル

And Then There Were None - 小さな貝塚

ライムストーン 木更津のアサリ 海の砂 など

コメント

人は生きながら、忘れたり、諦めたり、壊したりする。

無くなってしまふもの、使われなくなった場所、その上に新たな時間を積み重ねていく。

木更津市ではみることができなくなった貝塚、私の石と南清小学校のみんなの小さな貝塚で一層目を作ってみる。

みたことがない、誰もいなくなった景色。

「そこには何が見えますか？」

私たちがみるできない景色を想像してみる。

協賛：新木更津市漁業協同組合

制作協力：Yuki Mizuta / Yoko Araki / Takuya Kobayashi SpecialThanks：WSに参加してくれた南清小学校の皆さま

出前ワークショップ作品

学校名

南清小学校

タイトル

小さな貝塚を作ろう！

コメント

ゴミ捨て場というイメージが強い貝塚だが、人が生きてきた痕跡（歴史）が分かる場所である。

その歴史の指標ともなる貝塚をモチーフに木更津産アサリの貝殻と荒木の作品のカケラを融合させた“小さな貝塚”を制作する。

“小さな貝塚とは？”

石ができる何千年という時間、アサリが育つ2年間、今を生きる私たちが重ね合わせて作る立体を“小さな貝塚”と名付けた。同じ成分（炭酸カルシウム）でありながら含む時間が違う貝と石を今を生きる人間の時を積み重ねるワークショップ。

私の想像を超えてくる貝塚が完成した。小さな貝塚の誕生は小さな彫刻家の誕生でもあった。

「腕が痛くなった」「海の匂いがする」「これはたぶん魚の化石」「まだまだ磨きたい」

たくさんの感想全てが面白かった。

普段意識することがない木更津の景色、歴史、あさり、石・・・違った視点で物事をみるキッカケになれたなら嬉しい。



ご協力いただいた学校関係者・ボランティアサポーターの方々、心からお礼申し上げます。
木更津みなとぐちアートプロジェクト2022 ミナート スタッフ一同

ミンナとアート
みなとぐち

art-kisarazu.jp